

報道関係者各位

2026年1月28日 配信 No.2025-42
立命館アジア太平洋大学 (APU)

「APUまちなかスタジオ」を別府市街に5日間オープン 歴史的建築物・空き家活用の試行的な取り組み

立命館アジア太平洋大学（所在地：大分県別府市、学長：米山裕、以下APU）は、大学と地域をつなぐ文化交流スペース「APUまちなかスタジオ」を、別府市街に5日間限定でオープンします。本企画は、学校法人立命館が設ける、教職員による自発的・創造的で草の根的な取組みを支援する「グラスルーツ実践支援制度」を活用し、APUと立命館大学の教職員有志が2025年度のプロジェクトとして立ち上げました。

会場は、別府市北浜に位置する築約90年の元・置屋「中井邸」です。空き家となっていた本施設の利活用は、全国的な社会課題である歴史的建築物・空き家の活用の試行的な取り組みとしても位置づけています。

「ひらく」をテーマにしたイベントでは、学生、校友、教職員、地域住民、行政等とタッグを組み、落語会や写真展など、アートを軸にした体験型の企画を催します。国籍や世代、立場を越えて、人と人、大学と地域がゆるやかにつながる場をひらく取り組みです。APUを25年間支えてくださった地元の皆さんへの恩返しの意味と、これから絆を築き上げてく場所にしたいと考えています。

【開催概要】

日時：2月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）、23日（月・祝）

場所：APUまちなかスタジオ（中井邸）（別府市北浜2丁目2-18）

参加費：一部有料／要予約プログラムあり ※右記Instagram QRよりご確認ください



フライヤー



Instagram

【各イベント詳細】

・プロ×学生の落語寄席 2月15（日） 14:00～16:00（13:30開場）

落語協会理事・林家彦いち師匠と立命館大学落語研究会が共演。

入場料：一般2,000円、学生1,000円、小中高生500円、未就学児無料。要事前予約。

・別府の記憶を映す写真展 2月14日（土）、21日（土）、22日（日）、23日（月祝） 11:00～16:00

別府在住の写真家・藤田洋三氏と、台湾出身のAPU生 HSU HSIN TSE氏による、世代と国境を越えた展示。入場無料、予約不要。

・写真現像ワークショップ（サイアノタイプ） 2月21日（土） ① 12:30～14:00 / ② 14:30～16:00

太陽の光を使って写真を青く焼き付ける、19世紀から続く技法を体験します。講師は写真展に出展するHSU HSIN TSE氏。参加費：1,000円、要事前予約。

・対話型アート鑑賞会 2月21日（土） 11:00～11:45

参加者全員で、話し合いながら展示作品を鑑賞します。参加費無料、要事前予約。

・日常に寄り添うマインドフルなお茶会 2月22日（日） ① 12:30～14:00 / ② 15:00～16:00

急須を使って数種類のお茶を淹れ、和菓子と樂しみます。参加費：2,000円、要事前予約。

・APU生が運営する「TSUMUGU COFFEE STAND」が出店

2月14日（土）11:00～16:00 / 15日（日）13:30～16:00 / 21日（土）、23日（月祝）11:00～16:00

・BGM「Time Stream～時の流れ～」

APU校友で、音楽を中心に据えた飲食店「the HELL」「TANNEL」「tsuchiumu」を経営する深川謙蔵氏の選曲で、別府の時間の「流れ」を感じられる曲を会場で流します。